

有限会社山本縫製工場

香川県坂出市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

現場の困り事を独自のアイデアと技術力で商品化、医療現場の課題・ニーズにも対応して市場を拡大

- 先代より受け継いだ独自の縫製技術を強みに、医療介護分野をはじめとした新規分野の販路拡大に取り組む
- 医産官連携プロジェクトに参画し、医療現場の課題・ニーズ解決につながる製品を開発・商品化
- マーケットイン型ものづくりを重視し、取引先へのクイックレスポンスを徹底することで信頼関係を構築

企業基本情報

所在地	香川県坂出市福江町2丁目5-9
電話/FAX	0877-46-4757/0877-46-4030
URL	http://csf-yamamoto.com
代表者	代表取締役 山本 益美
設立	1952年
資本金	300万円
従業員数	8人



会社概要

1952年創業。家内工業的な縫製事業をはじめたのがきっかけでこれまでスポーツメーカーやアパレルメーカーからの受注生産を主に行ってきた。

バブル期以後先代から経営を引き継いだ現社長が大規模な経営改革を実施。同社の強みである縫製技術を活かしたオリジナル製品の開発を始め、熱中症対策の保冷リュック等オリジナル商品を開発している。地元自治体主催のセミナーで講師を務めるなど、経営のノウハウは他業種からも注目されている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

独自の縫製技術を強みにオリジナル商品を開発、新規分野の販路拡大に取り組む

先代の頃より受け継いだ服飾の立体縫製技術をもとに技術革新を重ね独自の縫製技術を確認。大規模な経営改革により受注生産中心の経営からの脱却を図るため、高性能素材等の新素材を活かした組み合わせ技術によるオリジナルブランド事業を展開している。知財を活用し同社のノウハウを守りながら、現場ニーズに対する迅速かつ適確な対応力で、医療介護分野をはじめとした新規分野での商品開発を行うなど、新市場への商圏拡大に積極的に取り組み、付加価値向上に努めている。



先代より受け継ぐ縫製技術

医産官連携により、独自技術を活かして医療現場の課題解決につながる製品を開発

医産官連携プロジェクトとして、四国経済産業局、香川県、かがわ健康関連製品開発フォーラムの連携と香川県内の公立病院の協力により、試作、現場での評価を繰り返し、2種類の製品を開発・商品化。現場の生の声を受け、熱中症対策の保冷リュックで採用した技術等を活用し、高い吸水性と拡散性を持ち、結露で濡れることがない「快適冷却まくらカバー」を開発し、新たな市場を開拓している。

本製品を元に他医療機関から改良提案も受けており、今後さらなる製品の展開が期待されている。



快適冷却まくらカバー

取引先のお困り事にクイックレスポンスを徹底し、信頼関係を構築

取引先企業が本当に必要とするものは何かを追究する、マーケットインのものづくりを重視し、同社のブランド名「CSF (Custom-Made Sewing Factory の略)」にもその思いが込められている。

多品種少量のジャストインタイムの形で、企画から生産まで同社一貫体制を確立することで、現場のお困り事に迅速に対応した試作開発を可能にするなどクイックレスポンスを徹底し、北は北海道から南は沖縄県まで幅広い取引先企業との信頼関係を構築し、市場を拡大している。



取引先との意見交換を重視